

代表質問の要旨

会派名

- 市民派連合
- 明政会
- 新政会
- 市政同志会
- 和の会
- 公明党
- 日本共産党

※本文は質問者自身の原稿によるものです

市民派連合

質問者 丸山 寿子

永田公由・今井英雄
小野光明・古畑秀夫
石井新吾・永井泰仁

質問時間70分

塩尻駅前整備の基本構想は



◆市の税収状況は

問 平成18年度税収の状況と19年度市内企業の法人税見込みはどうか。

答 総じて景気は緩やかな回復が続いており、諸税を含めた市税現年度全体では、収納額で90億7千万円余、昨年比3千8百万円増(0.4%増)となっている。法人市民税の見込みは、業種によっては不透明で、前年度水準の範囲内に落ち着くと予想し、9億6千万円を予定している。

◆役職定年制について

問 市職員の役職定年制をいつどのように実施していくのか。

答 本年10月から、定年退職を年度末に控えた「部長」職

を対象に実施する予定で、役職を降りた該当職員については、今までの経験やノウハウが活かせる部署での勤務(仮称「工事検査指導専門官」等)として勤務を予定している。

◆塩尻駅周辺整備は

問 塩尻市の玄関として、塩尻駅周辺整備が必要だが今後どのような計画があるか。

答 駅前広場を含めた塩尻駅東側周辺については、今年度基本構想の策定を行う。「こあ・しおじり」や駅前花壇についてはその中で検討していく。また、「玄蕃まつり」まではインフォメーションセンターを設置し、塩尻市観光協会に管理運営委託をし、観光案内とワイン・木曾漆器など地場産品の展示・販売をし、さらに交流拠点としての場の提供もしていく。

◆ワインフェスタの取り組みは

問 ワイナリーフェスタと又一ボーワインの今年の開催はどうするのか。

答 ワイナリーフェスタは過去2年、県内外から2千人を超える参加者で賑わっている。一方又一ボーワインは申込者が減少しているため、検討委員会が協議し、両イベントを統合して滞在型ということも

視野に入れながら、魅力ある内容で実施していく。「ワインのまち塩尻」を今後さらに全国に発信していきたい。

◆地球温暖化対策は

問 地球温暖化の影響で生命が脅かされる災害が市内ばかりでなく世界中で多発し、その対策は緊急課題である。身近な取り組みも大切であるが市民向け、また中小企業向けとして市の取り組みの現状はどうか。

答 (仮)塩尻市地球温暖化防止対策推進ネットワークを7月に設立予定で準備中であ



市の玄関として魅力ある整備計画を

る。市の新エネルギービジョンや省エネルギービジョンに基づき目標達成のための行動プログラムを策定し、市民レベルとしての普及・啓発活動に取り組んでいく。また本市